



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 東都水産株式会社

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	62,913	△6.2	550	92.1	565	56.1	483	196.8
23年3月期第2四半期	67,088	△3.4	286	△41.1	362	△17.2	162	△46.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 404百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.14	—
23年3月期第2四半期	4.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	26,863	9,513	35.4	239.00
23年3月期	24,212	9,084	37.5	228.22

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,513百万円 23年3月期 9,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	△9.0	500	61.7	500	49.9	370	—	9.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	40,260,000 株	23年3月期	40,260,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	452,983 株	23年3月期	452,052 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	39,807,554 株	23年3月期2Q	39,812,574 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災による停滞を脱し、持ち直しの傾向が見られるものの、ギリシャの債務危機を発端とした欧米景気の減速、円高・株安の長期化、電力供給不足問題などの懸念材料を抱え、依然先行き不透明な状況にあります。

水産物卸売市場業界におきましては、被災産地からの入荷量減少、福島原子力発電所からの海洋汚染による水産物に対する不信感の高まり、震災をきっかけとした消費者の節約志向など、集荷・販売両面で苦戦する厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか当社グループは、新しい取引先を積極的に開拓する一方、引き続き販売先との協力関係を一層強化し安全でおいしい商品を紹介するなど、消費者の要望にこたえる集荷・販売を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、魚価は回復傾向にありますが、取扱数量が減少したため前年同期と比べ6.2%減少の62,913百万円となりました。売上総利益率の向上、人件費の削減、貸倒引当金繰入額の減少等により営業利益は前年同期と比べ92.1%増加の550百万円、経常利益は前年同期と比べ56.1%増加の565百万円となりました。特別損益では、特別利益に「関係会社整理損失引当金戻入額」67百万円を計上し、さらに、前年同期に特別損失に計上した「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」60百万円等が減少したため、四半期純利益は前年同期と比べ196.8%増加の483百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

#### ① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、魚価は回復傾向にありますが、取扱数量が減少したため、売上高は前年同期と比べ6.2%減少の58,173百万円となりました。人件費の削減、貸倒引当金繰入額の減少等に努めました結果、103百万円の営業利益（前年同期営業損失9百万円）となりました。

#### ② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、水産物の製造加工に携わる国内子会社の売上高が減少したため、前年同期と比べ6.2%減少の4,417百万円となりました。売上総利益率の向上、販売諸経費の削減、貸倒引当金繰入額の減少等に努めました結果、営業利益は前年同期比86.6%増加の331百万円となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、管理物件の稼働率向上に努めましたものの、売上高は前年同期と比べ5.6%減少の321百万円となりました。売上原価及び人件費の削減等に努めましたが、営業利益は前年同期と比べ15.5%減少の126百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,650百万円増加し、26,863百万円となりました。流動資産は2,628百万円増加し、18,594百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が1,555百万円、受取手形及び売掛金が823百万円増加したことによるものです。固定資産は21百万円増加し、8,268百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2,221百万円増加し、17,349百万円となりました。流動負債は2,430百万円増加し、12,703百万円となりました。主な要因は、短期借入金が2,401百万円増加したことによるものです。固定負債は208百万円減少し、4,646百万円となりました。主な要因は、長期借入金が97百万円、退職給付引当金が85百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ428百万円増加し、9,513百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の37.5%から35.4%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の我が国経済は、東日本大震災による停滞は脱したものの、欧米景気の減速、新興国の成長鈍化、円高・株安の長期化など懸念材料も多く、今後も先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況のなか当社グループは、集荷・販売のさらなる機動性確保及び消費者の快適な生活に応える安全でおいしい商品の提供に取り組んでまいります。

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表しました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,430	4,314
受取手形及び売掛金	7,230	8,053
商品及び製品	4,728	6,283
仕掛品	63	115
原材料及び貯蔵品	212	266
その他	630	722
貸倒引当金	△1,329	△1,161
流動資産合計	15,965	18,594
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,593	3,588
その他(純額)	2,887	2,868
有形固定資産合計	6,480	6,456
無形固定資産	374	477
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,988	2,658
その他	1,188	1,182
貸倒引当金	△2,785	△2,506
投資その他の資産合計	1,391	1,334
固定資産合計	8,246	8,268
資産合計	24,212	26,863
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,308	3,525
短期借入金	5,791	8,193
未払法人税等	122	130
賞与引当金	88	75
関係会社整理損失引当金	205	—
その他	756	778
流動負債合計	10,272	12,703
固定負債		
長期借入金	1,706	1,609
退職給付引当金	1,605	1,519
資産除去債務	92	82
その他	1,450	1,434
固定負債合計	4,854	4,646
負債合計	15,127	17,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,621	6,128
自己株式	△60	△60
株主資本合計	8,954	9,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	△10
繰延ヘッジ損益	0	△11
土地再評価差額金	403	278
為替換算調整勘定	△265	△204
その他の包括利益累計額合計	130	51
純資産合計	9,084	9,513
負債純資産合計	24,212	26,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	67,088	62,913
売上原価	63,401	59,301
売上総利益	3,686	3,611
販売費及び一般管理費	3,400	3,061
営業利益	286	550
営業外収益		
受取利息	13	9
受取配当金	38	27
為替差益	60	—
その他	22	38
営業外収益合計	135	75
営業外費用		
支払利息	44	41
固定資産除却損	13	5
その他	1	11
営業外費用合計	59	59
経常利益	362	565
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	—	67
特別利益合計	—	67
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60	—
原状回復負担金	17	—
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	83	—
税金等調整前四半期純利益	279	633
法人税、住民税及び事業税	114	155
法人税等調整額	2	△5
法人税等合計	116	149
少数株主損益調整前四半期純利益	162	483
四半期純利益	162	483



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	162	483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	△2
繰延ヘッジ損益	△1	△12
土地再評価差額金	—	△125
為替換算調整勘定	△130	61
その他の包括利益合計	△230	△78
四半期包括利益	△68	404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68	404
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	水産物卸売 事業	冷蔵倉庫及 びその関連 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	62,039	4,707	341	67,088	—	67,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	528	1,476	95	2,100	(2,100)	—
計	62,568	6,184	436	69,189	(2,100)	67,088
セグメント利益又は損失(△)	△9	177	149	317	(31)	286

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	水産物卸売 事業	冷蔵倉庫及 びその関連 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,173	4,417	321	62,913	—	62,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	360	1,682	78	2,121	(2,121)	—
計	58,534	6,099	400	65,035	(2,121)	62,913
セグメント利益	103	331	126	561	(10)	550

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。